

weblle操作マニュアル (サイト編集)

weblleについて

weblleはconcrete5というCMS(コンテンツマネジメントシステム)をベースに作成したサイトを簡易的に作成できるパッケージになります。用意されている『ブロック』を配置して、誰でも簡単にサイト作成することができます。『ブロック』はドラッグ&ドロップで移動することができ、コンテンツの入れ替えも直感的に行えます。

また、ページの複製等も簡単に行えるので、ABテストも制作面での費用をかけずに行えます。

全体と各ページにそれぞれ独自のタグを挿入することができます。コンバージョンの測定等も細かく対応できます。

基本機能の概要

サイトマップと新規ページ追加について

1. ログイン画面
2. 編集画面
3. サイトマップの見方と使い方について
4. ページの複製方法

ページの編集について

1. 編集画面
2. コンテツの追加
3. 編集モード
4. コンポーザー/ページ設定

編集に関しての機能

1. テキストエディターについて
2. ファイルマネージャーについて
3. 下書きの削除

グローバルナビのブロック

色変更用のブロック

挙動が他と違うブロック

ブロックの複製

共通設定に関する機能

1. 共通設定
2. サイト名 ブックマークアイコン
3. トラッキングコード
4. キャッシュ

サイトマップと新規ページの追加について

新規ページについて

一般的なCMSの場合新規のページの追加をするとあらかじめ指定しておいた、特定のディレクトリにページが追加されます。

weblleの場合は新規ページを追加しても、そのページがどのディレクトリに配置されるかは任意に設定できます。

また作成したページに合わせてサイトマップも自動的に作成されるので、サイトの構造もわかりやすくなっています。

1. ログイン画面

こちらでweblleをインストール後、ログイン画面のURLを発行します。
ユーザーIDとパスワードを入力してログインをします。
※パスワードは自由に変更をできます。



The image shows a login screen with a dark gray background and a light gray brick pattern. At the top, the word "ログイン" (Login) is written in large white characters. Below it, there is a dark gray rectangular box containing the login form. Inside the box, there are two white input fields: the first is labeled "ユーザーID" (User ID) and the second is labeled "パスワード" (Password). Below the password field, there is a checkbox labeled "2週間ログインしたままにする" (Keep me logged in for 2 weeks). At the bottom left of the box is a blue button labeled "ログイン" (Login). At the bottom right of the box is a link labeled "パスワード再発行" (Reset password).

2.編集画面

ログイン後ページ上部に画像のようなツールバーが現れます。
weblleはページの編集画面と管理画面が一体になっています。
それにより、直感的にページを編集することが可能になっています。



ログイン状態になると上記のようなツールバーが表示されます。

3. 新規ページの追加方法

ツールバー右上のページをクリックします。
そうすると画像のような画面が展開されます。
新しいページの『ページ』をクリックします。

クリックすると新規のページが追加されます。

クリック



3. 新規ページの追加方法

クリックすると何も無いページが表示されます。
最初の状態ではまだ何も設定されていないので、
ページに関する設定を行います。

ツールバーの『コンポージャー/ページ設定』をクリックします。

画像のように何も設定されていないので

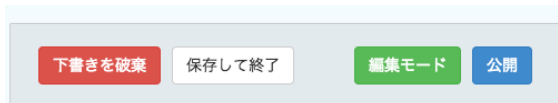
- ・ページ名
- ・URLスラッグ
- ・ページ位置

を設定します。

『下書きを破棄』『保存して終了』

『編集モード』『公開』

のいずれかをクリックします。



下書きを破棄 保存して終了 編集モード 公開



コンポージャー - ページ

更新日時: 2017/02/17 9:54:28

基本

ページ名

説明

URLスラッグ

ページ位置

ページを選択

3. 新規ページの追加方法

『下書きを破棄』

下書きの状態を破棄します。

『保存して終了』

下書きで入力した状態を公開せずに保存します。

『編集モード』

下書きで入力した状態を保存して、編集モードに移動します。

『公開』

入力した状態で公開します。

3. 新規ページの追加方法

ページ位置をクリックすると画像のような画面が表示されます。
作成されているページがサイトマップの形式で表示されます。

ページ配置したい場所をクリックして、
配置する場所を決定します。

画像の中でdemoの場所をクリックした場合
配置される場所は、

example.com/demo/URLスラッグ

のようになります。



3. サイトマップの見方と使い方について

ツールバー右上の管理画面をクリックすると管理画面の一覧が表示されます。
サイトマップをクリックするとこのような画面が表示されます。
※管理画面のボタンがない場合は隣のページをクリックしてサイトマップを表示させてください。



3. サイトマップの見方と使い方について

クリックすると画像のようなポップアップが表示されます。

『訪問』をクリックするとそのページに移動することができます。

『ページ検索』はページの設定を検索することができます。

『フラットビュー』は指定したページの子ページのみを表示させることができます。

『新規ページ』はクリックしたページの下のディレクトリにページを作成することができます。

『外部リンク』を追加は外部のサイトマップ内に表示できるようになります。

※フラットビューとページ検索は下の階層がある状態のページを選択すると表示されます。

ページ設定と同一の内容



4. ページの複製方法

サイトマップ上でページクリックしてドラッグ&ドロップをします。そうするとページの移動や複製を行うことができます。

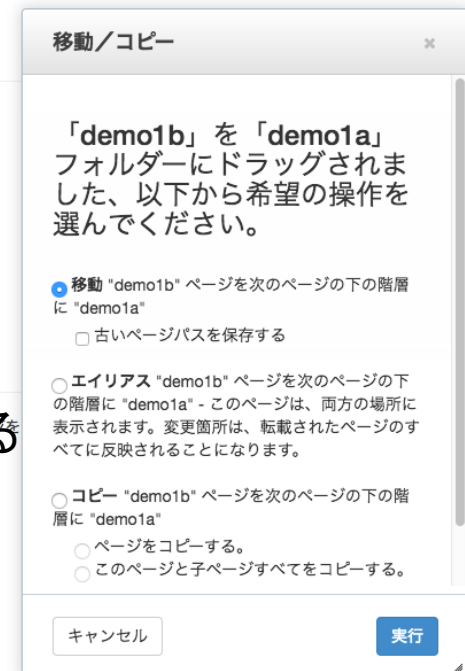
クリックを離すと画像のようなポップアップが表示されます。

『移動』を選択するとページが指定した場所に移動します。

『エイリアス』を選択するとページへのショートカットが作られます。

『コピー』をクリックすると指定した場所の下の階層にコピーされます。

※エイリアスは現在の機能では使用しません。



ページの編集について

1.編集画面

ページに関する設定は

- ① 編集モード
 - ② ページ設定
 - ③ コンテンツ追加
- の3つから行います。

- ① 編集モードはページのブロックを編集する際に使用します。
- ② ページ設定はタイトルやメタディスクリプションやページの場所などページの内部やSEOに関わる設定を行います。
- ③ コンテンツ追加はページに新規の内容を追加する場合に使用します。



2.コンテンツの追加

weblleはブロックを追加してコンテンツを作成していきます。
メニューの『コンテンツの追加』をクリックするとこのような画面になります。

ブロックに応じたカテゴリをクリック
するとそれに合ったブロックが展開
されます。

クリックすると展開される



2.コンテンツの追加

使用するブロック選んだらブロックをドラッグ&ドロップします。
配置される場所に緑色の線が表示されるので、配置する場所が問題なければ、
マウスのボタンを離します。



ドラッグ&ドロップ

2.コンテンツの追加

ブロックを追加すると画像のような編集画面になります。
こちらに文章と必要な画像を追加して、ブロックを作成していきます。

The dialog box is titled 'メイン画像 ロゴ テキスト中央を追加'. It contains three sections: '背景画像 必須' (Background Image Required) with a '画像を選択' (Select Image) button; 'ロゴ画像' (Logo Image) with a '画像を選択' (Select Image) button; and 'メインタイトル' (Main Title) with a rich text editor toolbar and a large text input area. At the bottom, there are two buttons: 'キャンセル' (Cancel) and '新規' (New), with the '新規' button highlighted by a red rectangle.

ブロックに反映されます



入力後「新規」をクリック

2.コンテンツの追加

ブロックを配置して、問題が無いなら左上の『編集モード終了』をクリックします。
問題が無いなら『変更を公開』をクリックします。
まだ公開しない場合には『変更を保存』をクリックします。

変更した内容を削除したい場合は『変更を破棄』をクリックします。

『変更を公開』を押さない限りは変更内容は公開されないなので、気をつけてください。

The screenshot shows the Weblle editor interface. At the top, there is a navigation bar with a logo on the left, a green button labeled '編集モード終了' (End Edit Mode) in the center, and a gear icon labeled 'コンポーザー' (Composer) on the right. Below the navigation bar, the main content area has a dark background. It features a section titled 'バージョン (編集履歴) コメント' (Version (Edit History) Comment) with a text input field. Below this field are three buttons: a blue button labeled '変更を公開' (Publish Change), a green button labeled '変更を保存' (Save Change), and a red button labeled '変更を破棄' (Discard Change).

3.編集モード

左上の編集モードをクリックすると、編集モードになります。
ブロックの内容を変更、ブロックの移動を行います。

編集モードでは無い状態



編集モード



3.編集モード

編集できるブロックの上にアイコンを移動するとブロックのフチが緑色になります。その状態でクリックすると画像のような表示が出てきます。

ブロックを編集をクリックすると、『コンテンツの追加』の編集画面と同じようにブロックの内容を編集できるようになります。



ブロックを編集をクリックします。

3.編集モード

編集モード中にブロックにアイコンを乗せると、右上に画像のようなアイコンが表示されます。

このアイコンをドラッグ&ドロップすると、『コンテンツの追加』と同じようにブロックの移動ができるようになります。

移動方法は『コンテンツの追加』で説明した方法と同じ方法で行えます。



ドラッグ&ドロップで移動

4.コンポーザー/ページ設定

コンポーザー/ページ設定をクリックすると、ページに関する情報を設定できます。

ページのタイトル、ディスクリプション、URLの設定、ページの配置の設定、キャッシュの設定、バージョンの設定、タグの挿入、等を行えます。

基本的なSEOに関する設定はこちらから行えます。

ページ設定に表示する項目は編集することも可能です。

※コンポーザーはTOPページには表示されません。



4.コンポーザー/ページ設定

1. 基本的な設定を行います。
- ② テンプレートを選択します。(使用しません)
- ③ タイトルやmetaタグなどSEOに関する設定を行います。
- ④ ページ場所を指定します。
- ⑤ あらかじめ決めておいた内容を入力できるようにした項目です。(使用しません)
- ⑥ キャッシュの設定を行います。
- ⑦ ユーザーを追加した際の権限の設定を行います。
- ⑧ 変更前の履歴を残します。
- ⑨ モバイルの場面でプレビューします。
- ⑩ ページを削除します。

①

コンポーザー

②

デザイン

③

SEO

④

場所

⑤

属性

⑥

キャッシュ

⑦

権限

⑧

バージョン

⑨

モバイルプレビュー

⑩

ページ削除

4.コンポーザー/ページ設定

コンポーザー

- ・ ページ名
ページのタイトルを決めます

- ・ 説明
descriptionに反映されます。

- ・ URLスラッグ
ページのURLを設定します。
testと設定すると
demo.com/**test**/
のような形でURLが設定されます。

Composer - Page

更新日時: 2017/02/16 17:29:06

基本

ページ名

説明

URLスラッグ
demo

4.コンポーザー/ページ設定

SEO

SEOに関する設定を行います

- ・ 名前
ページのタイトルになります。
(コンポーザーのページ名と同じです)
- ・ URLスラッグ
ページのURLを設定します。
(コンポーザーのURLスラッグと同じです)
- ・ Metaタグタイトル
<title>タグに表示される内容になります。
- ・ Metaタグ説明
<meta description>に表示される内容になります。
- ・ 追加ヘッダー要素
<head></head>内に追加する内容になります。
コンバージョンタグを埋め込む際に使います。

sitemap.xmlから除く

チェックを入れるとsitemap.xmlから除外されます。

(ページが非表示になるわけではありません。)

※sitemap.xmlとはウェブサイトの状態を検索エンジンに知らせる重要な役割を持ちます。

weblleはページを作成すると、sitemap.xmlを自動作成します。

SEO

名前 文字: 6
demo1a

URLスラッグ 文字: 6
demo1a

Metaタグタイトル 文字: 0

Metaタグ説明 文字: 0

追加ヘッダー要素 文字: 0

sitemap.xmlから除く
☐ sitemap.xmlから除く

4.コンポーザー/SEO(補足)

- Metaタグタイトル
- Metaタグ説明
- 追加ヘッダー要素

ここから</head>タグの間に
記述した内容が表記されます。

```
1 <!DOCTYPE HTML>
2 <html lang="ja">
3 <head>
4 <meta charset="utf-8">
5 <title>株式会社インターロジック | 広島のIT戦略コンサルティング会社</title>
6
7
8 <meta http-equiv="X-UA-Compatible" content="IE=edge,chrome=1">
9 <meta name="viewport" content="width=device-width,initial-scale=1">
10 <meta name="description" content="株式会社インターロジックの公式企業ページです。広島でIT戦略のサポートを行うコンサルティング
    EC事業立ち上げまで全般をサポートします。">
11
```

4.コンポーザー/ページ設定

場所

・場所を選択のボタン
ページの場所を指定

・このページのURL
自動で設定されます。
『URLを追加』から
正しいページを指定
します。

※カノニカルについての補足

カノニカルとはページの正しいURLを検索エンジンに伝える行為です。

例えばABテストをすると、ほぼ同じ内容のページ2ページ作成されます。

同じページが複数あるとどちらかがコピーコンテンツとみなされる可能性があります。

カノニカルを使用すると正しいページを検索エンジンに伝えることができます。

4.コンポーザー/ページ設定

ページキャッシュ
キャッシュに関する設定を行います

・キャッシュを有効

- グローバル設定を適用
- このページをキャッシュしない
- このページをキャッシュする

・キャッシュの時間

- グローバル設定を適用
- 手動でクリアされるまで
- カスタム(任意のキャッシュの時間を設定します)

※グローバル設定を適用はサイト全体に設定しているキャッシュの設定を適用します。

キャッシュとはサーバーにサイトの内容を複製しておき、表示があった際にその複製から表示して、高速化を図る行為です。

The screenshot shows the 'ページ設定' (Page Settings) sidebar on the left with 'ページキャッシュ' (Page Cache) selected. The main content area is titled 'ページキャッシュ' and contains the following settings:

- キャッシュを有効** (Enable Cache):
 - ☒ グローバル設定を適用 - フルページキャッシュを無効 (Apply Global Settings - Disable Full Page Cache)
 - ☐ このページはキャッシュしない。 (This page is not cached.)
 - ☐ このページをキャッシュする。 (Cache this page.)
- キャッシュ時間は?** (What is the cache time?):
 - ☒ グローバル設定を適用 - 6 時間 (Apply Global Settings - 6 hours)
 - ☐ 手動でクリアされるまで (Until manually cleared)
 - ☐ カスタム (Custom)
- キャッシュステータス** (Cache Status):

現在このページのフルページキャッシュは無効です。

4.コンポーザー/ページ設定

ページ権限

メンバーを追加した際や、ユーザーによってページの閲覧権限を変更できます。

指定したユーザーのみページの編集権限を与えることが可能です。

※権限についての設定は別のマニュアルを用意しているので、そちらを参照してください。

The screenshot displays the 'ページ設定' (Page Settings) interface. On the left is a dark sidebar with a menu containing: 'ページ設定' (Page Settings), 'コンポーザー' (Composer), 'デザイン' (Design), 'SEO', '場所' (Location), '属性' (Attributes), 'キャッシュ' (Cache), '権限' (Permissions - highlighted), 'バージョン' (Version), 'モバイルプレビュー' (Mobile Preview), and 'ページ削除' (Delete Page). The main content area has a light blue header 'ページ権限' (Page Permissions). Below this, it asks '誰がこのページを表示できますか？' (Who can view this page?) with three options: 'ゲスト' (Guest) - checked, '登録ユーザー' (Registered User) - unchecked, and '管理者' (Administrator) - unchecked. The next section asks '誰がこのページを編集できますか？' (Who can edit this page?) with three options: 'ゲスト' (Guest) - unchecked, '登録ユーザー' (Registered User) - unchecked, and '管理者' (Administrator) - checked.

設定項目	権限設定
誰がこのページを表示できますか？	<input checked="" type="checkbox"/> ゲスト <input type="checkbox"/> 登録ユーザー <input type="checkbox"/> 管理者
誰がこのページを編集できますか？	<input type="checkbox"/> ゲスト <input type="checkbox"/> 登録ユーザー <input checked="" type="checkbox"/> 管理者

4.コンポーザー/ページ設定

バージョン

ページを編集前のバージョンに戻すことができます。

1.以前のバージョンを複製

2.複製されたバージョンを承認

の手順を行うと以前のバージョンに戻すことができます。

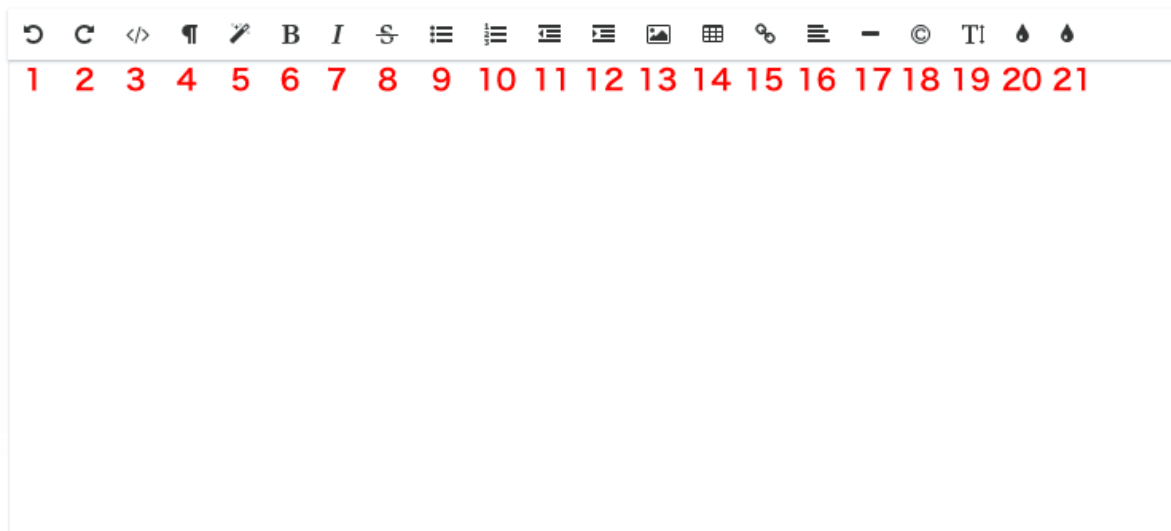


編集に関しての機能

1. テキストエディターについて

weblleにはテキストの文字の大きさや色などを編集できるように、エディターの機能があります。以下がエディターに付加されている内容になります。

1. 取り消す
2. やり直し
3. HTMLで編集
4. 見出しなどのテキストのフォーマットの編集
5. カスタムスタイル
6. 太字
7. イタリック体
8. 打ち消し線
9. 箇条書きリスト
10. 番号付きリスト
11. インデント解除
12. インデント
13. 画像追加
14. 表の作成
15. リンクの追加
16. テキストの位置合わせ
17. 水平線を挿入
18. 特殊文字(©など)
19. 文字の大きさ
20. 文字の色
21. 文字の背景色



2. ファイルマネージャーについて

weblleで画像を追加・編集する場合はファイルマネージャーという場所から行います。ファイルマネージャーに画像をアップロードを行い、そこから画像を選択してページに使用します。こちらの作業もドラッグ&ドロップで行えます。

まず下記のフィールドのような表示の箇所をクリックします。

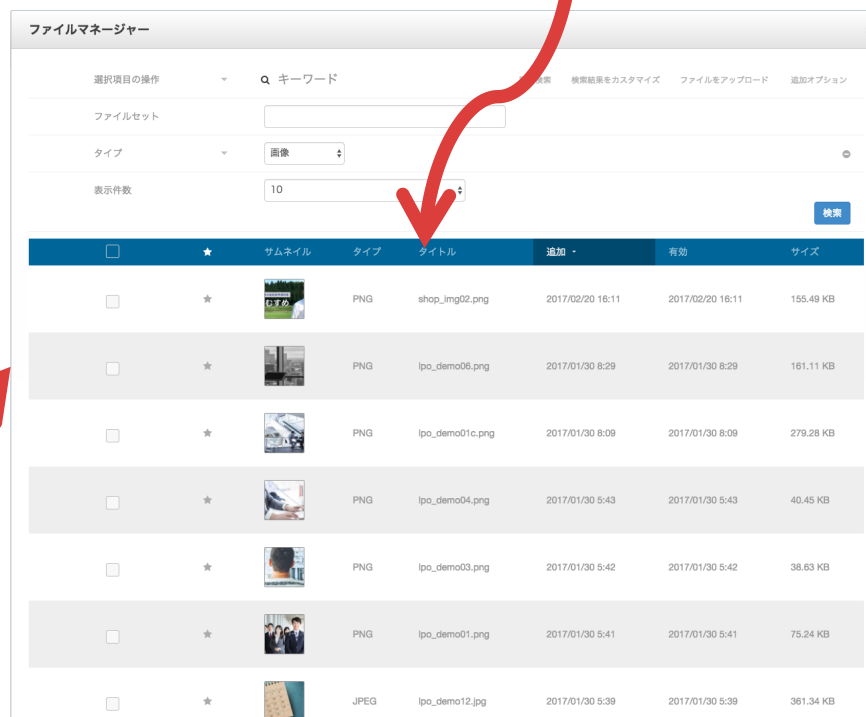
クリック後、ファイルマネージャーが起動します。起動後に挿入したい画像をドラッグ&ドロップします。

画像をドラッグ&ドロップ

クリック

背景画像 必須

新ファイル選択

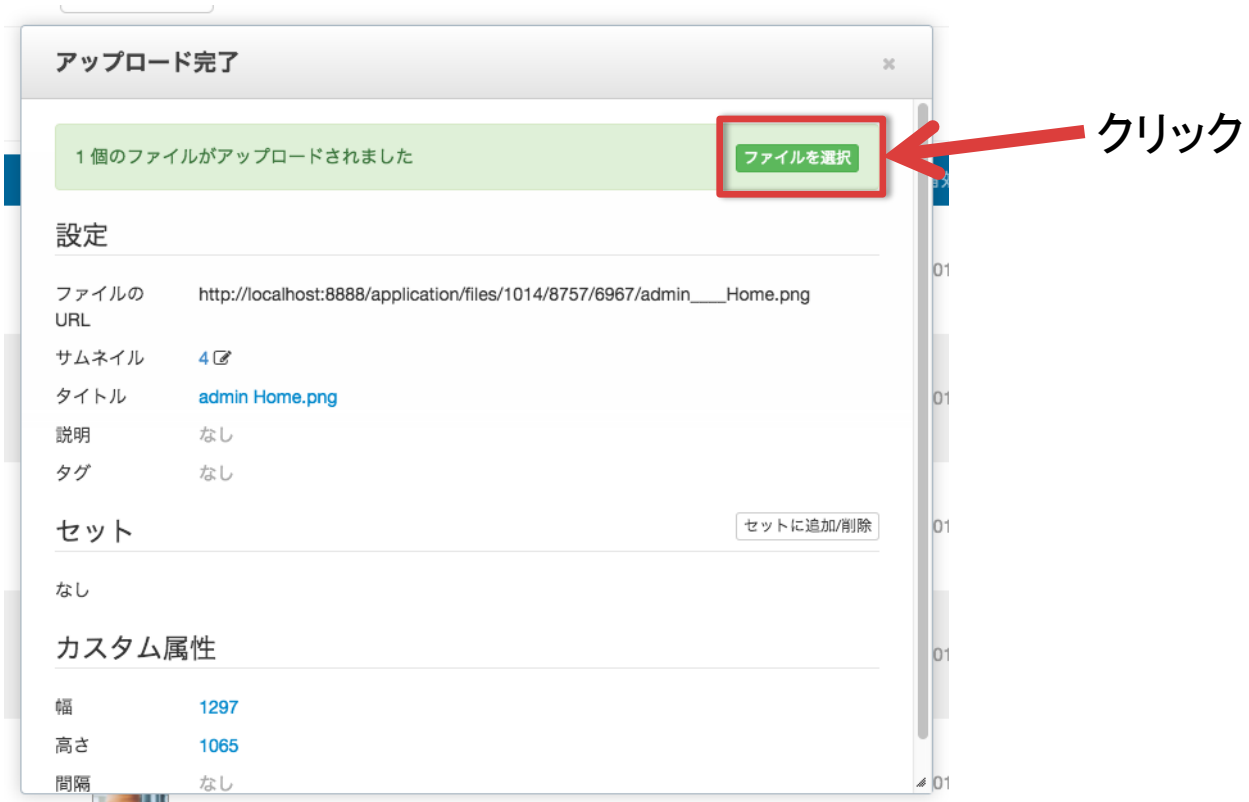


The screenshot shows the 'File Manager' (ファイルマネージャー) interface. At the top, there are filters for 'Select item operation' (選択項目の操作), 'File set' (ファイルセット), 'Type' (タイプ), and 'Number of items to display' (表示件数). The 'Type' filter is set to 'Image' (画像). Below the filters is a table with columns: 'Select' (checkbox), 'Favorite' (star), 'Thumbnail' (サムネイル), 'Type' (タイプ), 'Title' (タイトル), 'Add' (追加), 'Update' (更新), and 'Size' (サイズ). The table lists several image files, including 'shop_img02.png', 'lpo_demo06.png', 'lpo_demo01c.png', 'lpo_demo04.png', 'lpo_demo03.png', 'lpo_demo01.png', and 'lpo_demo12.jpg'. A red arrow points from the 'Image' filter to the table.

	★	サムネイル	タイプ	タイトル	追加	更新	サイズ
<input type="checkbox"/>	★		PNG	shop_img02.png	2017/02/20 18:11	2017/02/20 18:11	155.49 KB
<input type="checkbox"/>	★		PNG	lpo_demo06.png	2017/01/30 8:29	2017/01/30 8:29	161.11 KB
<input type="checkbox"/>	★		PNG	lpo_demo01c.png	2017/01/30 8:09	2017/01/30 8:09	279.28 KB
<input type="checkbox"/>	★		PNG	lpo_demo04.png	2017/01/30 5:43	2017/01/30 5:43	40.45 KB
<input type="checkbox"/>	★		PNG	lpo_demo03.png	2017/01/30 5:42	2017/01/30 5:42	38.63 KB
<input type="checkbox"/>	★		PNG	lpo_demo01.png	2017/01/30 5:41	2017/01/30 5:41	75.24 KB
<input type="checkbox"/>	★		JPEG	lpo_demo12.jpg	2017/01/30 5:39	2017/01/30 5:39	361.34 KB

2. ファイルマネージャーについて

アップロードが完了したら下記のような画面になります。
右上の『**ファイルを選択**』をクリックすると先ほどアップロードをした画像が適用されます。



2. ファイルマネージャーについて

編集から画像のトリミング等が行えます。
拡大・縮小のバーから画像の拡大縮小ができます。

幅・高さに数字を入力すると指定した幅に拡大できます。
※こちらには直接数字を入力せずに、メモ帳などに入力した数字をコピー&ペーストして、数字を入力してください。

画像の切り抜きから指定した範囲をトリミングできます。

※編集の機能は補助的な機能なので画像のアップロードはなるべくローカルで編集後に行ってください。



2. ファイルマネージャーについて

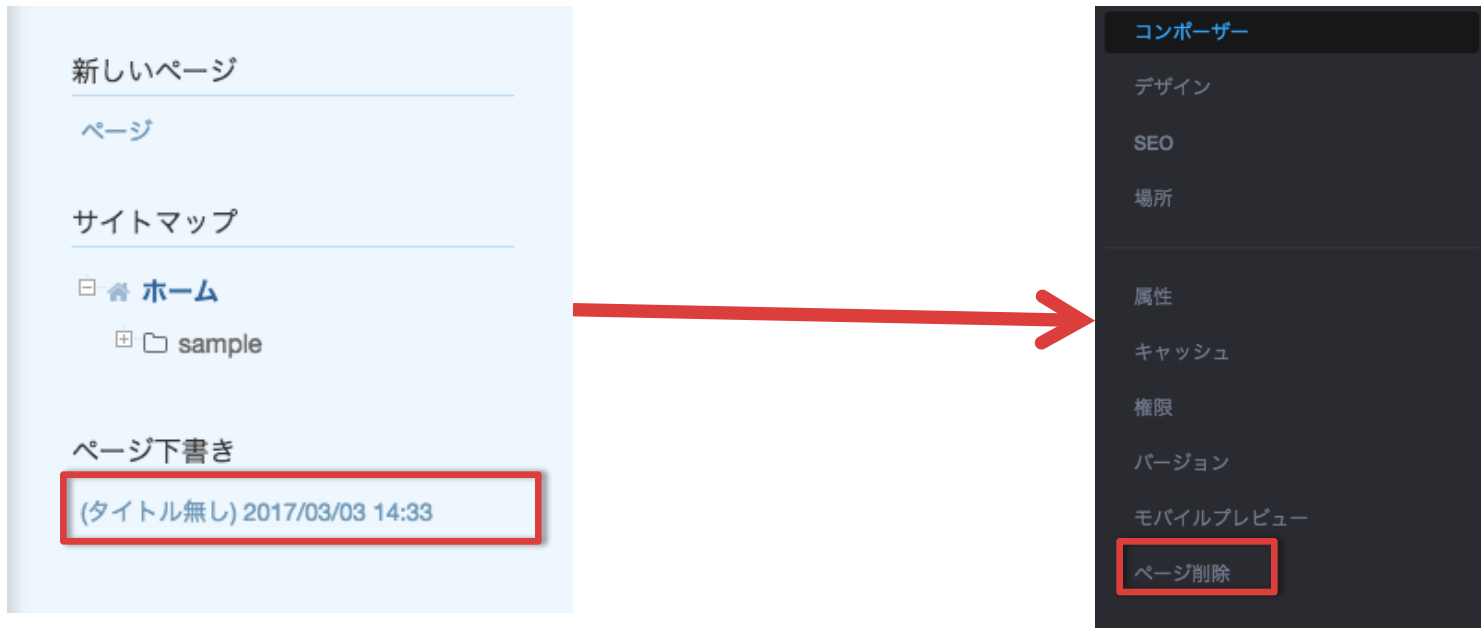
画像に対してaltタグを設定できます。
先ほどのメニューから設定をクリックします。
次にタイトルをクリックします。
クリック後、画像のalt属性に対応する内容を記述します。

The screenshot shows the Weblle file manager interface. On the left, a context menu is open with the '設定' (Settings) option highlighted by a red box. A red arrow points from this menu to the '基本設定' (Basic Settings) tab on the right. The '基本設定' tab displays various file details, with the 'タイトル' (Title) field highlighted by a red box, showing the value 'img02.jpg'.

詳細	バージョン	統計
基本設定		
ID	34 (バージョン 1)	
ファイル名	img02.jpg	
ファイルのURL	http://localhost:8888/application/file	
タイプ	JPEG	
サムネイル	4	
サイズ	129.52 KB (132,631 バイト)	
登録日	adminが2017/03/03 15:25に追加	
保存場所	Default	
タイトル	img02.jpg	
説明	なし	
タグ	なし	

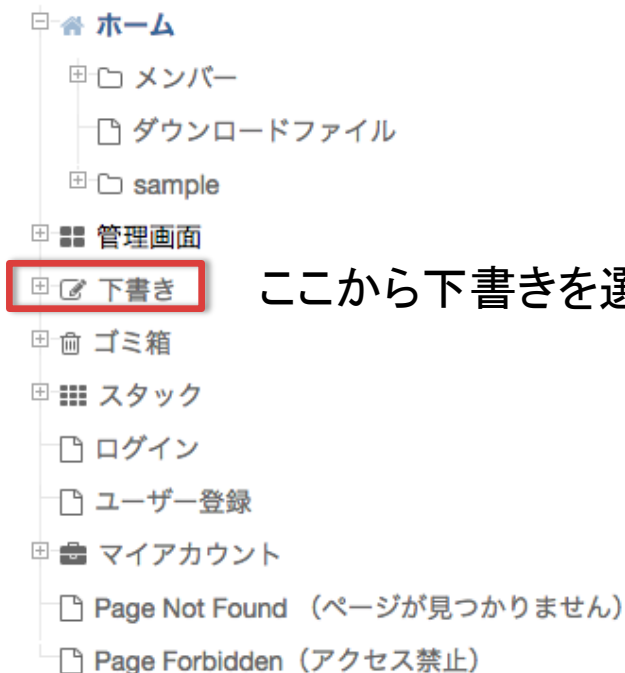
3. 下書きの削除

新規ページを作成して、保存をかけなくても下書きページが溜まります。
増えすぎると一覧性が悪くなってしまいます。
そういった場合に下書きを削除します。
下書きがある場合ページの下書きが表示されます。
削除したい下書きのページをクリックします。
その後コンポーザー/ページ設定から、ページ削除をします。



3. 下書きの削除

フルサイトマップからも削除が行えます。
一番下の『サイトマップにシステムページを含める』をクリックします。
その後サイトマップに下書きが表示されるので、そこから下書きを削除します。



ここから下書きを選び削除する

☒ サイトマップにシステムページを含める

グローバルナビのブロック

グローバルナビのブロック

グローバルナビのブロックが使用できます。
ブロックのカテゴリに「グローバルナビ」があるので、そちらを使用します。



色変更用のブロック

色変更用のブロック

パーツのカテゴリに『色の変更用』というブロックがあります。

そのブロックを配置をすると、

- ・テーマの背景色
- ・テーマの文字色
- ・ボーダーの色
- ・ボタンの背景色
- ・ボタンの文字色

を変更できます。

このブロックを配置しているページで設定した色のスタイルが反映されます。

全体でまとめて変更をしたい場合は、
スタックの機能を利用をしてください。

スタックについては

04weblleについて(共通部分の管理)のマニュアルを
を参照してください。

※それぞれのブロックで個別に色の指定をしている
場合は、そちらの色の設定が優勢されます。



色変更用のブロック

・テーマの背景色 見出しに使われている背景色を変更する

具体的なお仕事は何ですか？

Webサイトに訪れている人がどれくらいいるのか、どこから経由できたかなどを分析し、どのように集客したら良いかを改善案としてお客様に提示します。

集客を行うために、サイトの修正やオンライン広告の出稿などもおこないますが、そのサポの内容やオンライン広告の広告文なども考えたりします。

・テーマの文字色 見出しやサブタイトルで使われている テーマのポイントになる文字色を変更する わたしたちについて

-創業5周年を迎えて-

詳しく見る

・ボーダーの色 囲われている線の色を変更する



1. プレエントリー

応募フォームより必要事項を記入してエントリーしてください。
弊社採用担当より受付完了のメールをお送りします！

・ボタンの背景色 ・ボタンの文字色 ボタンに使用されている背景色と ボタンの文字色を変更します。

詳しく見る

挙動が他と違うブロック

挙動が他と違うブロック

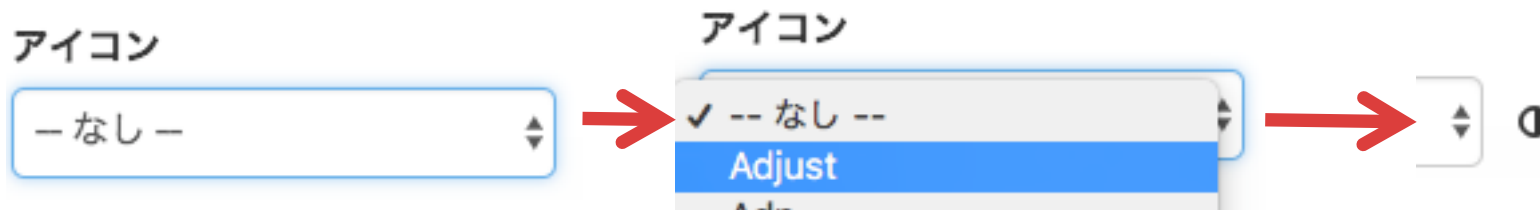
■アイコンを使用したブロック(リピートのカテゴリ)

- ・ds16 アイコンリスト

- ・ds8 画像フルアイコンリスト

アイコンを選ぶことができます。

選択したアイコンが選択したエリアの右に表示されます。



■画像のみのブロック(パーツのカテゴリ)

- ・gs3 画像のみ

- ・gs3 画像のみ(リンク無し)

画像のみを挿入するブロックになります。

余白を入力できます。

60px または 10% のように

ピクセルかパーセント単位で入力します。



挙動が他と違うブロック

■記事のみのブロック(パーツのカテゴリ)

・記事のみ

背景色とテキストのみを入力するブロックです。
エディターの見出しを適用すると、
それぞれのフォーマットに合うデザインが反映されます。



■見出しのブロック(パーツのカテゴリ)

・gs4 見出し1

下の余白(不要なら0を入力)

という項目があります。

下のブロックとの距離が空き過ぎる場合は、
こちらの項目に対して0の値を入力します。

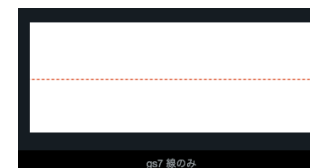
そうすると、このブロックの下の余白が無くなり、距離を詰めることができます。



■線のためのブロック(パーツのカテゴリ)

・gs7 線のみ

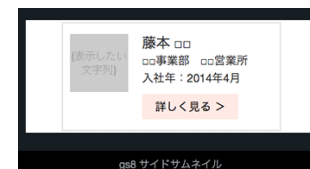
線のみを挿入できるブロックになります。



■2カラムのサイドバーで使用するブロック

・gs8 サイドサムネイル

2カラムのサイドバーで使用するブロックになります。



挙動が他と違うブロック

■ECの商品紹介ブロック(EC1のカテゴリ)

・EC1_8_商品紹介

コード挿入エリアという箇所があります。

そちらにSTORES.jpなどの商品購入用のボタンや商品ページのリンクのを貼り付けます。

コード挿入エリア



例)

・STORES.jp

<https://stores.jp/button>

・BASE

http://baseu.jp/customer_support/20161004114432/

ブロックの複製 (クリップボードについて)

ブロックの複製

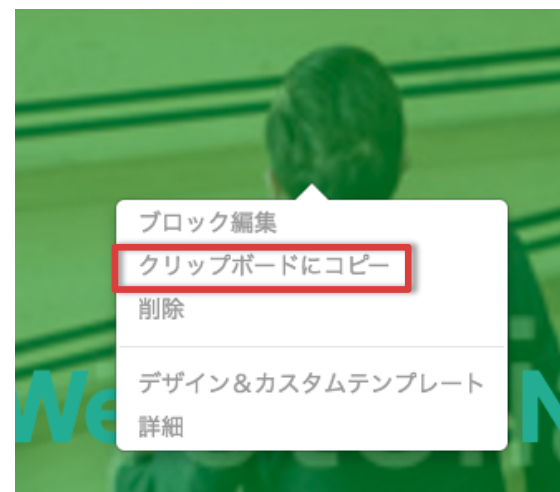
ブロックを作成するとそれを元にしてしたい場合があります。
例えばお問い合わせのブロックを作成して、その入力内容を元に何か変更や追加したなどです。
そういった場合にクリップボードという機能を使用をします。
こちらを使用すると、任意のブロックを指定してそれを元にブロックを新規で作成することができます。

スタックの機能(別のマニュアルで説明します)と違うのは、スタックの場合は編集をすると他のブロックに影響がありますが、クリップボードは複製するだけなので他のブロックに影響を与えることはありません。

ブロックの複製

任意のブロックを選択します。
クリップボードにコピーをクリックします。

その後ブロックはクリップボードに追加されました。
と現れます。



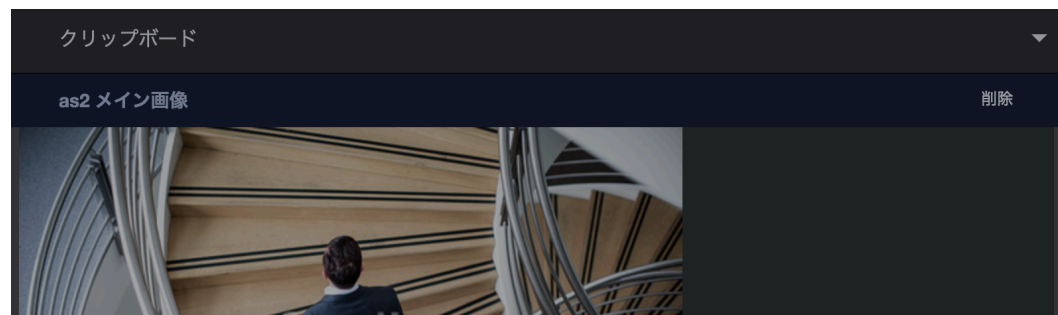
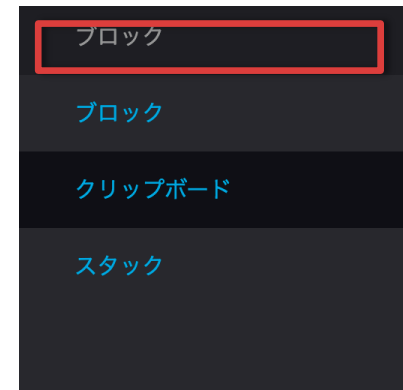
ブロックの複製

クリップボードが追加されたら、ブロックを編集するメニューの上部をクリックします。

ブロック クリップボード スタック
のメニューが表示されます。

メニューのクリップボードをクリックします。

クリックすると下記のような画面が表示されます。
クリップボードにコピーをしたものをブロックと同じように
ドラッグ&ドロップをします。



共通設定に関する機能

1. 共通の設定

サイト名やトラッキングのタグなど全体に関する設定を行うことができます。
主に扱う箇所は『サイト名』『トラッキングコード』『ブックマークアイコン』『キャッシュ』の項目になります。



システムと設定

基本

- [サイト名](#)
- [アクセシビリティ](#)
- [ソーシャルリンク](#)
- [ブックマークアイコン](#)
- [記事ブロックエディター設定](#)
- [言語](#)
- [タイムゾーン](#)

多言語

- [多言語サポート設定](#)
- [言語をコピー](#)
- [ページレポート](#)
- [サイトインターフェースを翻訳](#)

SEOと統計

- [URLとリダイレクト](#)
- [一括SEOアップデーター](#)
- [トラッキングコード](#)
- [URL除外語の一覧](#)
- [検索インデックス](#)

ファイル

- [ファイルマネージャー権限](#)
- [許可されたファイル拡張子](#)
- [サムネイル](#)
- [画像アップロード](#)
- [ファイル保存場所](#)

最適化

- [キャッシュとスピード設定](#)
- [キャッシュをクリア](#)
- [自動実行ジョブ](#)
- [データベースクエリーログ](#)

権限とアクセス

- [サイトアクセス](#)
- [タスク権限](#)
- [ユーザー権限](#)
- [上級権限モード](#)
- [IPブラックリスト](#)
- [Captcha設定](#)
- [スパムコントロール](#)
- [メンテナンスモード](#)

2. サイト名 ブックマークアイコン

基本→サイト名からサイト名を変更できます。

サイト名

サイト名

テストサイト

基本→ブックマークアイコンから『Favicon』を設定できます。

ブックマークアイコン

Favicon

画像は16x16ピクセルで、拡張子を .ico にした gif または png である必要があります。



logo.png

保存



テストサイト :: ブックマークアイコン ×

3.トラッキングコード

SEOと統計→トラッキングコードからトラッキングコードの設定をできます。

こちらに記述した内容が全てのページに挿入されます。

アナリティクスのタグのなどを記述します。

下のページのヘッダーかページのフッターの項目から挿入される場所を選択できます。

※コンバージョンタグなどページ個別にコードを追加する際はページ設定の追加ヘッダーから行います。

トラッキングコード

トラッキングコード

ここにペーストしたHTMLは、お使いのウェブサイトのすべてのページの先頭、もしくは末尾に自動的に挿入されます。

- ☐ ページのヘッダー
- ☒ ページのフッター

4. キャッシュ

最適化→キャッシュとスピードの設定 からキャッシュに関する設定を行います。
『ブロックキャッシュテーマ』『CSS キャッシュ』『LESSの出力を圧縮』『CSS と Javascript
キャッシュ』『オーバーライドをキャッシュ』『フルページキャッシュ』『ページのキャッシュ期
限』

上記の8項目を設定できます。

『ページのキャッシュ期限』以外の項目は、それぞれ有効にするか無効するか設定します。

『ページのキャッシュ期限』

- 毎 6 時間(デフォルト設定)
- 手動
- 定期○分ごと

の3項目のどれかから設定します。

こちらで全体のキャッシュの項目を設定します。
ページでキャッシュを設定している場合は、
ページの設定が有効になります。

キャッシュとスピード設定

ブロックキャッシュ

- ☒ 無効 - カスタムブロックの開発中に適しています。
- ☐ 有効 - ウェブサイトを高速化するのに役立ちます

テーマ CSS キャッシュ

- ☒ 無効 - LESS ファイルを使ったテーマを開発している場合に適しています。
- ☐ 有効 - ウェブサイトを高速化するのに役立ちます

LESSの出力を圧縮

- ☒ 無効 - 出力されたCSSをデバッグするのに適しています。
 - ☐ 生成されたCSSファイルのソースマップを有効にする
- ☐ 有効 - ウェブサイトを高速化するのに役立ちます

CSS と Javascript キャッシュ

- ☒ 無効 - ブロックやサイトの開発中に適しています。
- ☐ 有効 - ウェブサイトを高速化するのに役立ちます

4. キャッシュ

最適化→キャッシュをクリア からキャッシュを削除します。
サイトの画像や編集内容が変更されない場合や、設定に関する項目が変更されない場合は、こちらからキャッシュをクリアしてください。

キャッシュをクリア

このサイトで古い情報が表示されたり、不明な結果を出している場合、サイトキャッシュを削除する事によって解決する場合があります。

キャッシュをクリア